



新年度が始まりました。ご入園ご進級おめでとうございます。

昨年度に引き続き、今年度もノーベル保育園で、おはなし会をさせていただけることになりました。

お子さんたちと絵本や紙芝居を楽しみながら、保護者の方にも絵本の楽しさをお伝えできればと思います。

よろしくお願いいたします。

🍀 3月のおはなし会から 🍀

3月6日におはなし会にうかがいました。ちょうちょ・てんとう組さんが長椅子にお行儀よく座って待っていてくれて、季節の絵本や紙芝居を読ませていただきました。最後に花束と「たいせつなたからもの」の歌をうたっていただき、じーんと感激しました。



「はなをくんくん」

ルース・クラウス文 マーク・シーモント絵 きじまはじめ訳 福音館書店 1967年初版

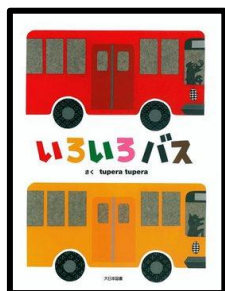
雪に埋もれた森の中、動物たちが走り出します。その先には…。春をまちこがれる心に灯をともしよう的なあたたかな絵本です。「はなをくんくん」と一緒に言いいながら見てくれました。



「はるかぜさんぽ」

えがしらみちこ 作 講談社 2017年初版

女の子がお散歩にでかけてたんぽぽ、ちょうちょなどいろいろな草花を見つけます。透明感のある明るい色彩の絵が魅力です。子どもたちもほっこりとした笑顔で、シャボン玉の場面では、特に嬉しそうに見ていました。



「いろいろバス」

tupera tupera 作 大日本図書 2013年初版

色に関心が出てきたお子さんにぴったりの絵本。バスの色にちなんだものが降りたり乗ったり奇想天外に登場。興味がつきません。みんなはどの色が好き？と聞くと「ピンクのバスにのりたい」と答えてくれました。



「おうちにかえろう」

青山邦彦 作 白泉社 2015年初版

遊んだ後のお片付け、なかなか難しいですね。出したらしまう、物にはすべておうちがあるんだよ、と大人にも子どもにも大事なことを教えてくれる絵本です。



紙芝居「たのしいおひなさま」

おおいじゅんこ 作 教育画劇 2021年初版

かんむりをなくしたおひなさまに子どもたちが探してあげます。探し絵が楽しめる紙芝居で、子どもたちも絵を見て一緒にさがしていました。

🌸おはなし会🌸 について

おはなし会では、20分を目安に、何冊かの絵本や紙芝居を用意し、わらべうたや手遊び、軍手人形、パペットなどを間に入れながら、読み聞かせを楽しんでもらえるようにしています。

絵本を選ぶときには、次のことを心がけています。

- ・想像性あふれる豊かな絵と言葉の絵本、子どもの心に同調する内容の絵本。
- ・昔から読み継がれてきた絵本と新しい絵本を組み合わせること。
- ・季節感を感じられる絵本、食べ物や動物など、子どもたちの生活や興味にあった絵本。

3歳まではテレビやビデオ、スマホやタブレットなどでの動画の視聴はなるべく控えて、親子でふれあいながら、絵本を読み聞かせることが、言葉の発達や愛着形成に大切だと言われています。

ご家庭でもぜひ読み聞かせを楽しんでいただきたいと思います。

読み聞かせは親御さんにもストレスを軽減する効果もあるそうです。

お近くの図書館などで、絵本を借りてきて、お子さんが身近によい絵本に出会う環境を作ってあげましょう。

この絵本だよりでもいろいろな絵本を紹介していきたいと思います。



おはなし会のテーマソングを作りました。

(「あくしゅでこんにちは」の替え歌で)

🎵 オープニングテーマ

てくてく てくてく あるいてきて
あくしゅで こんにちは ごきげんいかか
わくわく わくわく おはなしかいが
は・じ・ま・る・よー

🎵 エンディングテーマ

てくてく てくてく あるいてきて
あくしゅで さようなら またまたあおう
そろそろ そろそろ おはなしかいは
お・し・ま・い・でーす

みんなもいっしょに
うたってね

